

KENWOOD

DVDレシーバー

f-VD9

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用す
ることはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし！
ファンクショナルオペレーション
Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション
EZ Operation

Functional Operation

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

DVD Mode

DVD Setup Menu Mode

Tuner Mode

Name Set

EZ Operation

Options

Remote Control

? Operation
? DVD
? Word
Help



Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

DISCの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK！
イージーオペレーション

EZ Operation

DVD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた12

リモコンの操作！

Remote Control

Remote Control62

Common Operation

電池の入れかた

DVD Operation

External Disc Operation

Tuner Operation

SNPS/DNPS Operation

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ！

Help

Help? Operation72

Help? DVD80

Help? Word82

付録

Appendices

取り付け時のご注意86

接続88

取り付け90

保証とアフターサービス92

仕様一覧93

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection14
ソース選択

Audio Control15

交通情報音量設定

<DS-02未接続時>

dB EQUALIZER

スピーカーマッチング

ノンフェーダー出力設定

オーディオコントロール

クロスオーバーコントロール

スペシャルライザー

<DS-02接続時>

2ゾーンモードの設定

2ゾーンモード時のスピーカー選択

オーディオコントロール

クロスオーバーコントロール

サラウンドプロセッサコントロール

Display Control30

ディスプレイタイプ選択

ALL OFFモード中表示選択

ディスプレイ上段表示選択

ディスプレイ下段表示選択

グラフィック表示選択

Function Control34

ファンクションセット

時計調整

日付設定

DVD Mode (VCD,CDを含む)38

チャプターサーチ

プレイバック (PBC)コントロール

トラックサーチ

マニュアルサーチ

ポーズ

トラックリポートプレイ

DVD Setup Menu Mode	40
<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニューの設定 音声言語の設定 字幕言語の設定 ディスクメニューの設定 視聴規制レベルの設定 光デジタル出力の設定 ダイナミックレンジの設定 2倍速時通常音声再生機能の設定 スクリーンモードの設定 カラースキームの設定 ズームの設定 	
Tuner Mode	54
<ul style="list-style-type: none"> バンド切り替え プリセットチューニング チューニング オートメモリー マニュアルメモリー 	
Name Set	56
<ul style="list-style-type: none"> DNPS (ディスク名前プリセット) / SNPS (ステーション名前プリセット) AUX名前セレクト 	

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control	60
<ul style="list-style-type: none"> ディスクサーチ トラックサーチ マニュアルサーチ ポーズ トラック/ディスクリピートプレイ トラックスキャンプレイ トラックランダムプレイ マガジンランダムプレイ タイトル/テキストスクロール 	

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

DVD Mode

DVD Setup Menu Mode

Tuner Mode

Name Set

Options

Remote Control

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? DVD f-VD9でプレイできるDVDのメディアやディスクマーク、用語の説明をしています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



DVDの操作

DVD/VCD/CDをプレイする操作を表しています。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



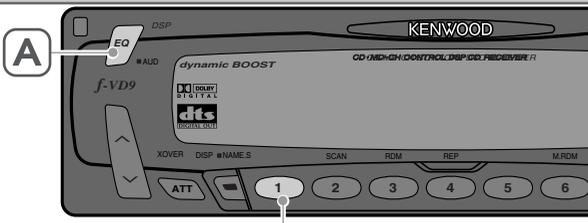
1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。

通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。



A

この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

B

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

C



押すたびに次の順で切り替わりま

- TUNER FM/AM放送を受信
- DVD DVD/VCD/CDをプレイ
- TV AUX入力されている音を出力
- ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表示します。

内容の説明

表示される文字または内容

2ゾーンモードの設定

ソース選択した音声とDS-02にAUX入力した音声をフロント/リアスピーカーから別々に聴くことができます。

1 2ゾーン選択モードにします

D



2Zone Normal OFF

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

"2Zone"と表示されるまで押し

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

- Source Selection/Audio Control
- Display Control
- Function Control
- DVD Mode
- DVD Setup Menu Mode
- Tuner Mode
- Name Set

- Options
- Remote Control
- Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

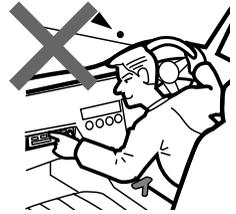
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

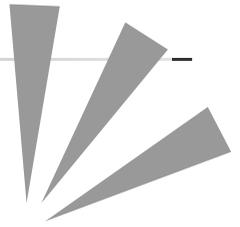
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクやカセットの挿入・取り出しなど）
- DVDやビデオを見る。



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, RJ-480, RD-380またはRD-360が接続可能です。これらのCDプレーヤー/ディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

KCA-S210A(別売品)の AUX IN端子について

本機に接続したチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A(別売品)のAUX入力機能は使用できません。

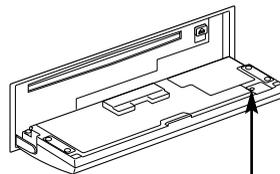
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.48)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

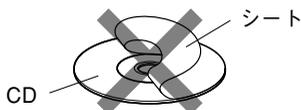


●
記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●
レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

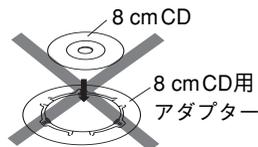
CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



●
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

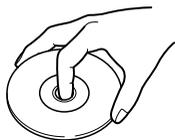


DISCの取り扱い

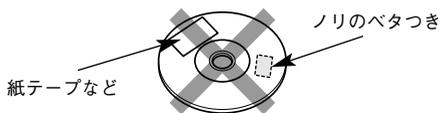
ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されている面が記録面です。)



記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCD/DVDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクの保存

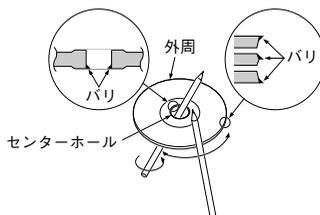
直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

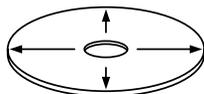
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

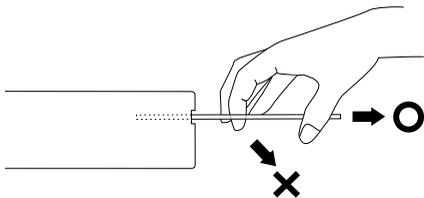
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

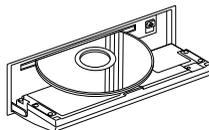


DVD、ビデオCD、CDの再生は簡単！ ディスクを差し込むだけです。



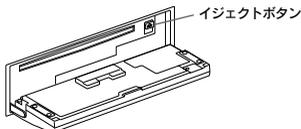
DVD、ビデオCD、CDを再生するときは…

■を押して操作パネルを開き、再生するディスクを差し込みます。差し込んだディスクがプレイされます。

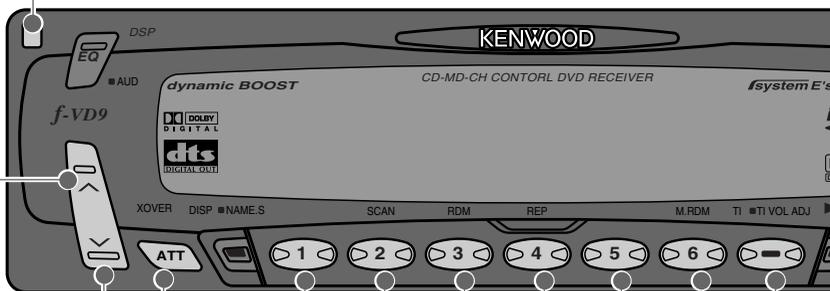


ディスクを取り出すときは…

イジェクトボタンを押します。



- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- パネルを開いたまま使用しないでください。
- イジェクトして挿入口にあるディスクを再び挿入するときは、一度挿入口から取り出してください。



音量を上げます。



音量を下げます。



音量をすばやく小さくします。
もう一度押すか、へボタンを押すと元の音量に戻ります。



メモリーされている放送局を選びます。
2秒以上押しと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



交通情報を受信します。
もう一度押すと元に戻ります。



注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



DVDの操作
(VCD,CDを含む)



チューナーの操作



共通の操作



プレイする曲を選びます。

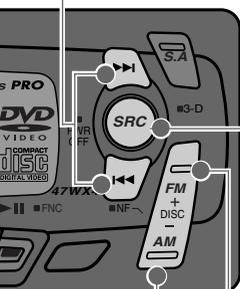


受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、
メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(34ページ)



交通情報の周波数(1620KHz/1629KHz/522KHz)
を切り替えます。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
1秒以上押すと、電源がオフになります。



DVDのプレイとFM/AM放送
を切り替えます。

FM/AM放送、DVD、TV(AUX)、ALL OFFに
切り替わります。



FM放送のバンド (FM1/FM2)
に切り替えます。



チャプター/トラックのマニユア
ルサーチアップを行います。



AM放送のバンド (AM1/AM2) に
切り替えます。



チャプター/トラックのマニユア
ルサーチダウンを行います。

Source Selection/Audio Control

Display Control

Function Control

DVD Mode

DVD Setup Menu Mode

Tuner Mode

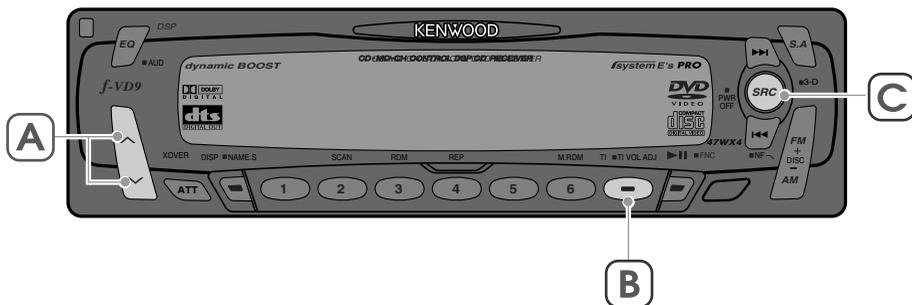
Name Set

Options

Remote Control

Help

Source Selection / Audio Control



ソース選択

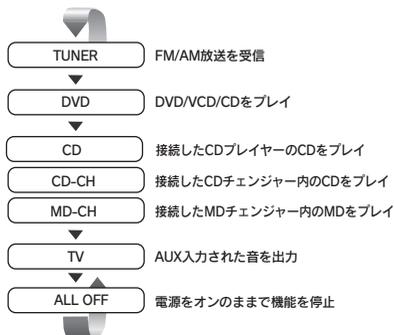
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。



- AUXソースの表示は、初期状態では“TV”と表示されますが、“AUXネームセレクト”(58ページ)で変更することができます。
- AUXソースの表示は、“Buitin AUX”がオフ中は表示しません。

プレイするソースを選びます。
また、音質などを調整します。

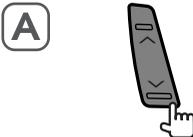
交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



2 設定したい音量にします

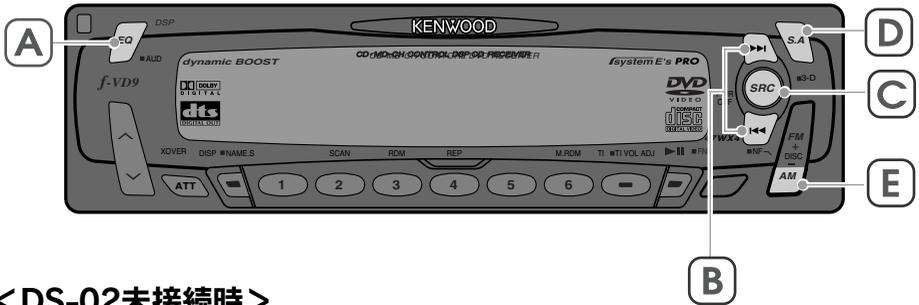


3 音量をメモリーします



音量表示が1回点減するまで押し続けます。
もう一度押すと、交通情報モードは解除されます。
次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。(初期設定値は17です。)

Audio Control



<DS-02未接続時>

dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出します。

dB EQUALIZERを選択します



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

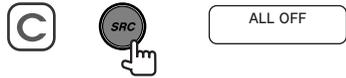


- dB EQUALIZERはFM放送、AM放送、DVDモード、TV(AUX)モード、CDプレイヤーモード、CD-CHモード、MD-CHモードの各ソースごとに設定できます。
- “USER PRESET” はオーディオコントロール (18ページ) で設定した音質を呼び出します。

スピーカーマッチング

dBイコライザーの設定を車両のスピーカーに合わせます。

1 ALL OFFモードにします



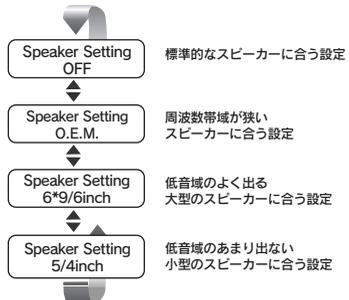
2 スピーカーマッチングモードにします



3 スピーカーを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



4 スピーカーマッチングモードを終了します

A



ノンフェダー出力設定

ノンフェダー出力のオン/オフを切り替えます。

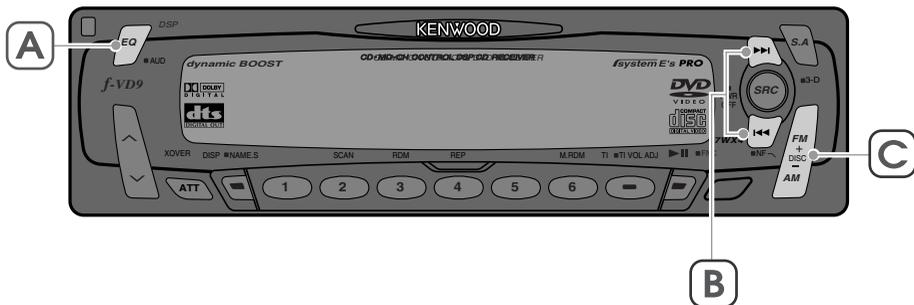
E



NF
OFF

1秒以上押すたびに、ノンフェダー出力がオン/オフします。

Audio Control



オーディオコントロール

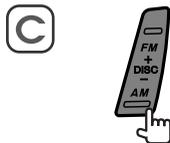
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



オーディオコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bass FRQ (低音中心周波数)	60/70/80/ 100 または150(Hz)
Bass (低音)	-9 ~ 0 ~ +9
Bass Q (低音クオリティ ファクター)	1.00 /1.25/1.50/2.00
Bass EXT (低音中心周波数伸張)	ON/OFF
MID FRQ (中低音中心周波数)	0.5/1.0/1.5/2.0(kHz)
MID (中低音)	-9 ~ 0 ~ +9
MID Q (中低音クオリティ ファクター)	1.00 /2.00
TRE FRQ (高音中心周波数)	10k/ 12.5k /15k/17.5k(Hz)
TRE (高音の音量レベル)	-9 ~ 0 ~ +9
Balance (左右の音量レベル)	L15 ~ 0 ~ R15
Fader (前後の音量レベル差)	R15 ~ 0 ~ F15
NF Level (ノンフェーダープリアウト 出力レベル)	-15 ~ 0 ~ +15
Volume Offset (ソース間のレベル差)	-8 ~ 0 ~ +8

(太字は初期設定値)

- “Bass”、“MID”、“TRE” および “NF Level” は FM放送、AM放送、DVDモード、TV(AUX)モード、CDプレイヤーモード、CD-CHモード、MD-CHモードの各ソースごとに設定できます。
- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.82)を参照してください。
- Bass Q（低音クオリティーファクター）の設定値により、Bass FRQ（低音中心周波数）の設定可能な周波数が以下のように変わります。

Bass Q 設定値	Bass FRQ設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100(Hz)
2.00	60/70/80/150(Hz)

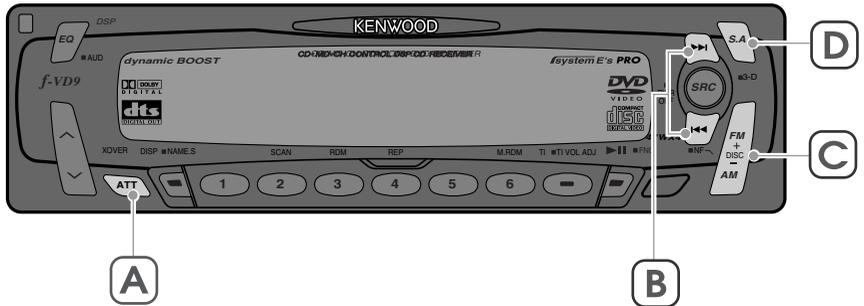
- “NF Level” は “NF” の設定が “ON” のときのみ設定できます。

4 オーディオコントロールを終了します

A



Audio Control



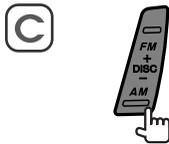
クロスオーバーコントロール

1 クロスオーバーコントロールモードに入ります



クロスオーバーコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
FRNT HPF (フロント低音カット)	THROUGH/40/60/80/100/ 120/150/180/220(Hz)
REAR HPF (リア低音カット)	THROUGH/40/60/80/100/ 120/150/180/220(Hz)
NF LPF (ノンフェーダー高音カット)	50/80/120(Hz)/THROUGH
NF Phase (ノンフェーダー出力位相)	Normal(正相)/ Reverse(逆相)

(太字は初期設定値)

- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.82)を参照してください。
- “NF LPF” と “NF Phase” は “NF” の設定が “ON” のときのみ設定できます。

4 クロスオーバーコントロールを終了します



スペシャライザー

3-D効果を設定します。

- 1 スペシャライザーコントロールモードに入ります

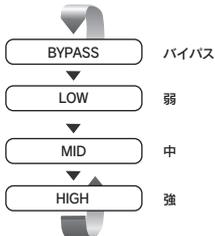


"SPATIALIZER"と表示されるまで押し続けます。スペシャライザー機能がオンし、コントロールモードに入ります。

- 2 スペシャライザーの項目を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



- 3 スペシャライザーコントロールモードを終了します



または、10秒以上なにも操作しないでおきます。

スペシャライザーをオフする

- 1 スペシャライザーの項目を選択します

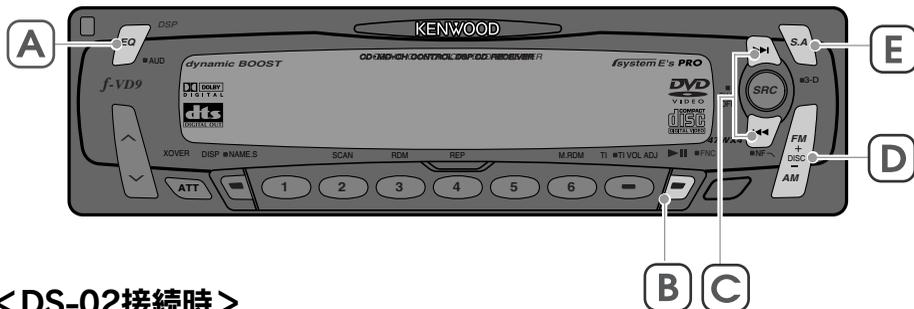


スペシャライザーコントロールモードで"BYPASS"を選択します。

- 2 スペシャライザーをオフします



Audio Control

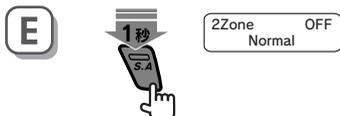


<DS-02接続時>

2ゾーンモードの設定

ソース選択した音声とDS-02にAUX入力した音声をフロント/リアスピーカーから別々に聴くことができます。

1 2ゾーン選択モードにします



"2Zone"と表示されるまで押し続けます。

2 2ゾーンモードを設定します



押すたびに2ゾーンモードがオン/オフします。

! DTSで記録されたディスクを再生する場合は2ゾーンモードをオンにしないで下さい。オンに設定するとディスクの音声は出力されません。

3 2ゾーン選択モードを終了します



2ゾーンモード時のスピーカー選択

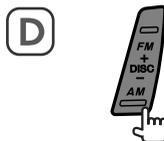
2ゾーンモードがオン時のフロント/リアスピーカーから聴く音声を選択します。

1 2ゾーンモードをオンにします



2ゾーンモードの設定で2ゾーンモードをオンにします。

2 スピーカーを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



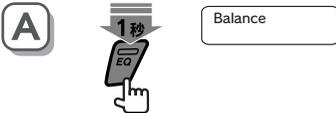
3 スピーカ設定モードを終了します



オーディオコントロール

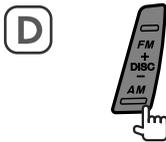
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



オーディオコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Balance (左右の音量レベル)	L15~0~R15
Fader (前後の音量レベル差)	R15~0~F15
SW Level (サブウーファー出力レベル)	-35~0~+5
Volume Offset (ソース間のレベル差)	-8~±0

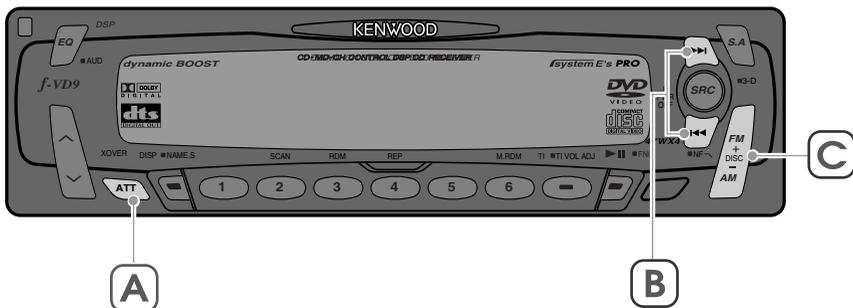
(太字は初期設定値)

- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.82)を参照してください。
- “SW Level” はサラウンドプロセッサコントロール (27ページ) の “Sub Woofer” 項目が “ON” に設定されているときに設定できます。
- “SW Level” は2ゾーンがオンのときは設定できません。

4 オーディオコントロールを終了します



Audio Control



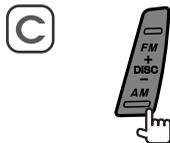
クロスオーバーコントロール

1 クロスオーバーコントロールモードに入ります



クロスオーバーコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
FRNT HPF (フロント低音カット 周波数)	THROUGH /30/60/90/120/ 150/180/250(Hz)
FRNT Slope (フロント低音カット スロープ)	12 /18/24(dB)
F-R DTA (前右側スピーカー のディレイ時間)	0.0 /0.1/0.3/0.4/0.6/0.7/0.9/ 1.0/1.2/1.3/1.5/1.6/1.8/1.9/ 2.1/2.2/2.4/2.5/2.7/2.8/3.0/ 3.3/3.6/3.9/4.2/4.5/4.8/5.1/ 5.4/5.7/6.0(m)
F-L DTA (前左側スピーカー のディレイ時間)	0.0 /0.1/0.3/0.4/0.6/0.7/0.9/ 1.0/1.2/1.3/1.5/1.6/1.8/1.9/ 2.1/2.2/2.4/2.5/2.7/2.8/3.0/ 3.3/3.6/3.9/4.2/4.5/4.8/5.1/ 5.4/5.7/6.0(m)
REAR HPF (リア低音カット周波数)	THROUGH /30/60/90/120/ 150/180/250(Hz)
REAR Slope (リア低音カットスロープ)	12 /18/24(dB)
R-R DTA (後右側スピーカー のディレイ時間)	0.0 /0.1/0.3/0.4/0.6/0.7/0.9/ 1.0/1.2/1.3/1.5/1.6/1.8/1.9/ 2.1/2.2/2.4/2.5/2.7/2.8/3.0/ 3.3/3.6/3.9/4.2/4.5/4.8/5.1/ 5.4/5.7/6.0(m)
R-L DTA (後左側スピーカー のディレイ時間)	0.0 /0.1/0.3/0.4/0.6/0.7/0.9/ 1.0/1.2/1.3/1.5/1.6/1.8/1.9/ 2.1/2.2/2.4/2.5/2.7/2.8/3.0/ 3.3/3.6/3.9/4.2/4.5/4.8/5.1/ 5.4/5.7/6.0(m)
SW LPF (サブウーファー高音 カット周波数)	30/60/90/ 120 /150/180/ 250(Hz)
SW Slope (サブウーファー高音 カットスロープ)	12 /18/24(dB)
SW DTA (サブウーファー のディレイ時間)	0.0 /0.1/0.3/0.4/0.6/0.7/0.9/ 1.0/1.2/1.3/1.5/1.6/1.8/1.9/ 2.1/2.2/2.4/2.5/2.7/2.8/3.0/ 3.3/3.6/3.9/4.2/4.5/4.8/5.1/ 5.4/5.7/6.0(m)

設定項目	設定値
CNTR HPF (センター低音カット 周波数)	THROUGH /30/60/90/120/ 150/180/250(Hz)
CNTR Slope (センター低音カット スロープ)	12 /18/24(dB)
CNTR DTA (センタースピーカー のディレイ時間)	0.0 /0.1/0.3/0.4/0.6/0.7/0.9/ 1.0/1.2/1.3/1.5(m)
SW Phase (サブウーファー出力位相)	Normal (正相)/ Reverse(逆相)

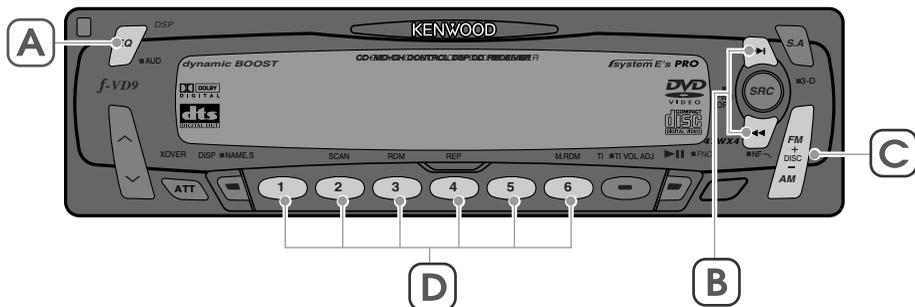
(太字は初期設定値)

- クロスオーバーは2ゾーンモードがオンのときには設定できません。
- ハイパスフィルターとローパスフィルターは、サブウーファーの設定 (27ページ) がオンのときに設定できます。
- サブウーファーの調整 “SW LPF”、“SW Slope”、“SW DTA”、“SW Phase” は、サブウーファーの設定 (27ページ) がオンのときに操作できます。
- スロープは、周波数の設定が “THROUGH” のときには調整できません。
- リアスピーカーの調整は、“Multi CH” の設定 (27ページ) が “3/0” または、“2/0” のときには操作できません。
- センタースピーカーの調整は、2 ch PCMソースの時には “PCM Center” の設定 (27ページ) がオンまたは “Dolby PL” の設定 (27ページ) がオンのときに操作できます。
- センタースピーカーの調整は、“Multi CH” の設定 (27ページ) が “2/2” または、“2/0” のときには操作できません。
- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.82)を参照してください。

4 クロスオーバーコントロールを終了します



Audio Control



設定のメモリー

クロスオーバー/ディレイ時間の設定を6つまで保存できます。

1 値を設定します

前記 (24ページ) の“クロスオーバーコントロール”を参照して値を設定します。

2 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



X'over Preset
Memory 3 ch

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

メモリー呼び出し

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている設定を呼び出します。

メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



X'over Preset
Call 3 ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている設定値が呼び出されます。

サラウンドプロセッサコントロール

1 サラウンドプロセッサコントロールモードにします

A



FLAT

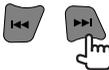
2 設定する項目を選択します

C



3 値を選択します

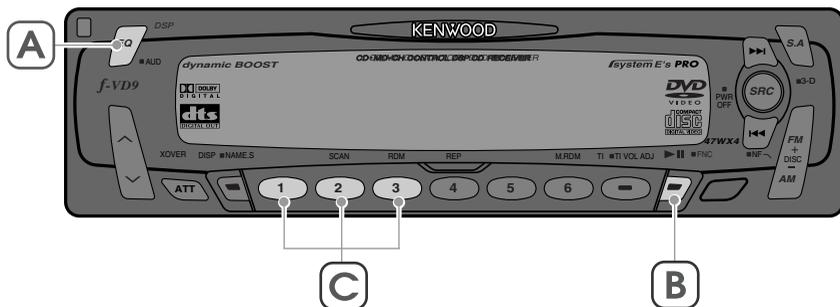
B



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
プリセット イコライザー	FLAT/POPS/ROCK/ DANCE/VOCAL/ CLASSIC (初期設定値は“User” です)
パラメトリック イコライザー	
BAND-1 f (中心周波数)	60/80/ 100 /120/160/ 200/250(Hz)
BAND-1 Gain (ゲイン)	-12~ 0 ~+12
BAND-1 Q (クオリティファクター)	0.25/0.50/ 1.00 /2.00
BAND-2 f (中心周波数)	315/400/ 500 /630/ 800(Hz)/1(kHz)
BAND-2 Gain (ゲイン)	-12~ 0 ~+12
BAND-2 Q (クオリティファクター)	0.25/0.50/ 1.00 /2.00
BAND-3 f (中心周波数)	1.25/1.6/ 2 /2.5/3.15/ 4(kHz)
BAND-3 Gain (ゲイン)	-12~ 0 ~+12
BAND-3 Q (クオリティファクター)	0.25/0.50/ 1.00 /2.00
BAND-4 f (中心周波数)	5/6.3/8/ 10 /12.5/16(kHz)
BAND-4 Gain (ゲイン)	-12~ 0 ~+12
BAND-4 Q (クオリティファクター)	0.25/0.50/ 1.00 /2.00

Audio Control



設定項目	設定値
ポジション	ALL/F-RIGHT/F-LEFT/ F-ALL/R-ALL
ドルビープロロジック	Dolby PL ON/ Dolby PL OFF
PCMセンター	PCM Center ON/ PCM Center OFF
バイファントム	Bi Phantom ON/ Bi Phantom OFF
マルチチャンネル	Multi CH 3/2 / Multi CH 2/2 / Multi CH 3/0 / Multi CH 2/0
サブウーファー	Sub Woofer ON/ Sub Woofer OFF
チャンネルレベル の調整	
CH LEV F-R (フロント右側スピーカー のレベル調整)	-10~0~+10(dB)
CH LEV F-L (フロント左側スピーカー のレベル調整)	-10~0~+10(dB)
CH LEV R-R (リア右側スピーカーの レベル調整)	-10~0~+10(dB)
CH LEV R-L (リア左側スピーカーの レベル調整)	-10~0~+10(dB)
CH LEV CEN (センタースピーカーの レベル調整)	-10~0~+10(dB)

(太字は初期設定値)

- チャンネルレベル設定“CH LEV F-R”、“CH LEV F-L”、“CH LEV R-R”および“CH LEV R-L”以外は2ゾーンモードがオンのときは設定できません。
- プリセットイコライザーの設定では、パラメトリックイコライザーを調整すると“User”表示になります。

- ドルビープロロジックの設定は、5.1chサラウンドのDVDとDTS-CDを再生しているときは操作できません。
- バイファントムの設定は、ドルビープロロジックの設定がオフのときには操作できません。
- バイファントムの設定は、ドルビーデジタル5.1chサラウンドまたは、DTS5.1chサラウンドおよびDTS-CDを再生しているときは操作できません。
- PCMセンターの設定は、2ch PCMで“Dolby PL”が“OFF”のときに設定できます。
- マルチチャンネルの設定は、2ch PCMのDVDまたは、VCDまたは、CDまたは、DVDモード以外でドルビープロロジックの設定がオフのときには操作できません。
- マルチチャンネルを設定しても、ディスクの信号形式により設定が有効にならない場合があります。
- リアスピーカーのチャンネルレベルの調整は、“Multi CH”の設定が“3/0”または“2/0”ときには設定できません。
- センタースピーカーのチャンネルレベルの調整は、“Multi CH”の設定が“2/2”または“2/0”のとこおよび、“PCM Center”の設定が“OFF”のときには設定できません。
- テスト信号(“Noise Sequencer”)がオンのときには、チャンネルレベルの調整のみ操作できます。

4 サラウンドプロセッサコントロールを終了します



テスト信号のオン/オフ

チャンネルレベル設定時、スピーカーの出力レベルを設定するための、ノイズ信号が各チャンネル順に2秒間隔で出力されます。ノイズ信号に各チャンネルの出力レベルが合うように調整します。

テスト信号をオン/オフします



Noise Sequencer
ON

押すたびにテスト信号がオン/オフします。

- 2ゾーンモードがオンのときには設定できません。
- チャンネルレベルの項目を設定しているときのみオン/オフできます。

設定のメモリー

パラメトリックイコライザーの設定を3つまで保存できます。

1 値を設定します

前記の“サラウンドプロセッサーコントロール”を参照してパラメトリックイコライザーの値を設定します。

2 メモリーするボタン (1~3のいずれか) を選びます



DSP Preset
Memory 3 ch

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

パラメトリックイコライザーの項目を表示しているときのみメモリーできます。

メモリー呼び出し

メモリーボタン (1~3) にメモリーされている設定を呼び出します。

メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます

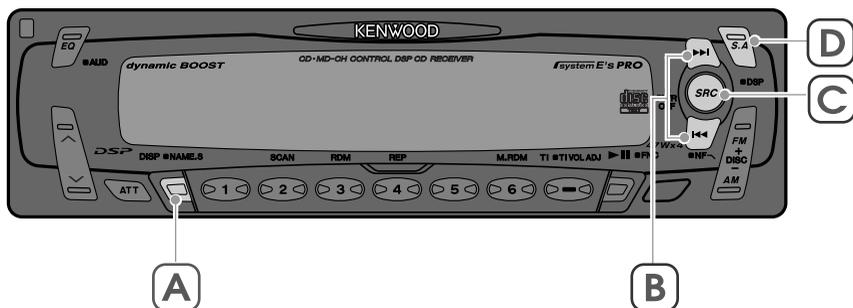


DSP Preset
Call 3 ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている設定値が呼び出されます。

パラメトリックイコライザーの項目を表示しているときのみメモリー呼び出しができます。

Display Control



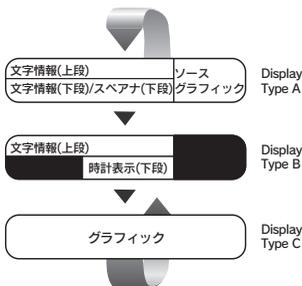
ディスプレイタイプ選択

ディスプレイに表示されるタイプを切り替えます。

A



押すたびに次の順で切り替わります。



- 「(上段)」、「(下段)」および「グラフィック」の切り替えかたはそれぞれ、ディスプレイ上段表示選択 (31ページ)、ディスプレイ下段表示選択 (32ページ)、グラフィック表示選択 (33ページ) をご覧ください。
- 「ソースグラフィック」はファンクションセット (34ページ) の “Icon/Speana Select” 項目でスペアナに切り替えることができます。
- ALL OFFモード中はType Cに切り替えられません。
- DTSで記録されたディスクを再生しているときは、スペアナが表示されません。

ALL OFFモード中表示選択

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

1 ALL OFFモードにします

C



ALL OFF

2 表示を選びます

D



押すたびに次の順で切り替わります。



- ディスプレイタイプがType Bのときは、“グラフィック”に切り替えられません。

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

ディスプレイ上段表示選択

ディスプレイタイプのType AまたはBの上段表示を切り替えます。

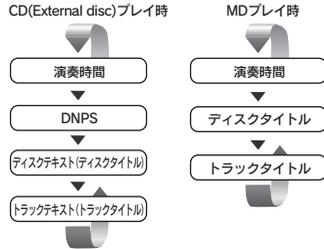
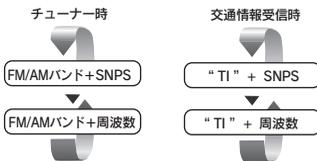
1 ディスプレイ表示切替モードにします



2 表示を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

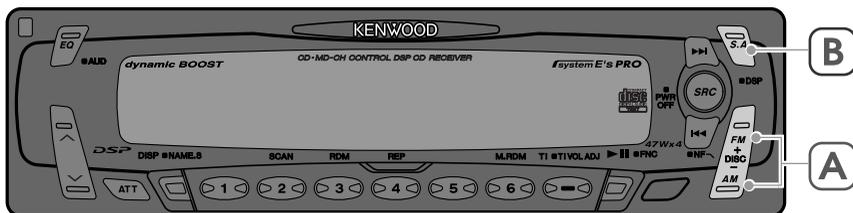


- ディスプレイ上段表示は下段に表示されている情報と同じ情報は選択できません。
- DVDソース時はDVD、VCD、CDの各メディアごとの固定表示で切り替えはできません。
- AUXソース時はAUXネームセレクト(58ページ)で設定された名前が表示され、切り替えはできません。

3 ディスプレイ表示切替モードを終了します



Display Control



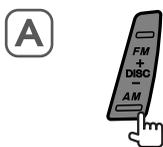
ディスプレイ下段表示選択

ディスプレイタイプのType AまたはBの下段表示を切り替えます。

1 ディスプレイ表示切替モードにします

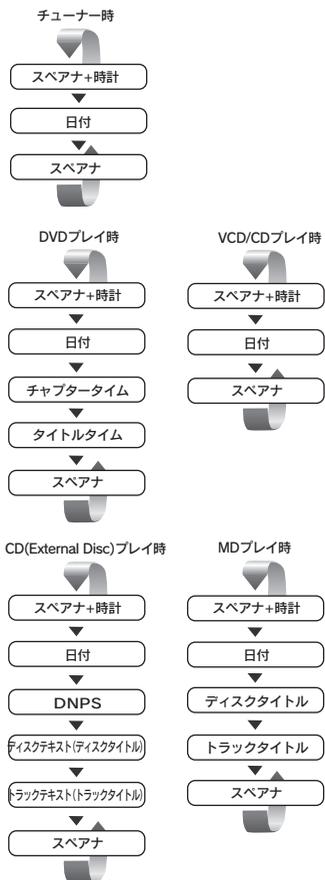
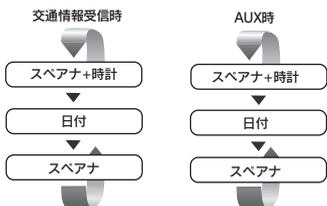


2 表示を選びます



Type Bに設定時は、時計表示がオン/オフします。

Type Aに設定時は、押すたびに次の順で切り替わります。



● ディスプレイ下段表示は上段に表示されている情報と同じ情報は選択できません。

3 ディスプレイ表示切替モードを終了します

B



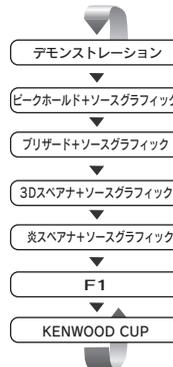
グラフィック表示選択

ディスプレイタイプのType Cの表示を切り替えます。

B

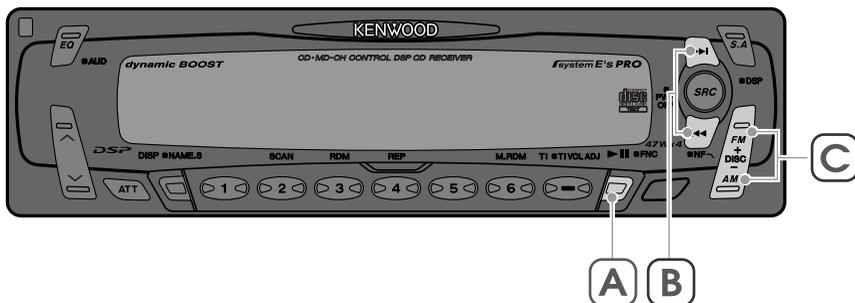


押すたびに次の順で切り替わります。



● 「ソースグラフィック」はファンクションセット (34ページ) の “Icon/Speana Select” 項目でスヘアナに切り替えることができます。

Function Control



ファンクションセット

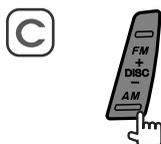
操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

すべてのモード中

設定項目	設定値
Beep (ビープ音)	ON/OFF
Builtin AUX (AUXソース切り替え設定)	ON/OFF
Scroll (タイトルスクロール設定)	Auto/Manual
AMP Bass (外部アンプコントロール)	Flat /+6 /+12
DB PRO (オーディオコントロールの項目数選択)	ON/OFF
LOUD (ラウドネス設定)	ON/OFF (ALL OFFモード中は設定できません。)
Dimmer (車両ライトスイッチがオンのときの減光を設定)	ON/OFF
Font Select (ディスプレイ表示のフォント選択)	2種類のフォントから選択します。
Icon/Spkana Select (ソース切り替えグラフィックとスペアナの選択)	4種類の表示の中から選択します。(ALL OFFモード中は設定できません。)
Date Adjust (日付設定)	設定の方法は37ページをご覧ください。
Clock Adjust (時計調整)	調整の方法は36ページをご覧ください。

(太字は初期設定値)

本機の各種の機能を設定します。

TUNERモード中のみ

設定項目	設定値
MONO (モノラル受信)	ON/OFF
Auto-Memory (オートメモリー)	設定の方法は55ページをご覧ください。
Seek Mode (チューニングモード)	Auto1 /Auto2 /Manual

(太字は初期設定値)

ALL OFFモード中のみ

設定項目	設定値
Navi Mute (ナビ音声ガイド時の ミュート設定)	ON/OFF

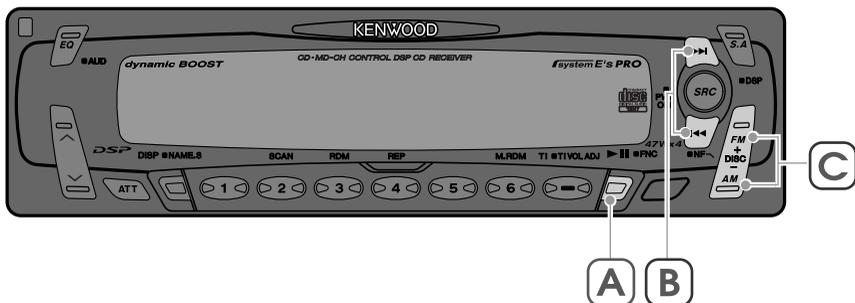
(太字は初期設定値)

- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.82)を参照してください。
- “AMP Bass” で本機からコントロール可能なアンプはKAC-PS501F/ PS301T/ PS201Tです。(2001年3月1日現在)
- “DB PRO” と “LOUD” の設定はDS-02を接続したときは設定できません。

4 ファンクションセットモードを終了します



Function Control



時計調整

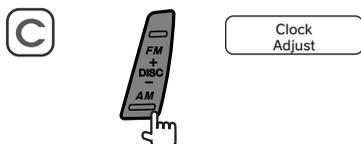
時刻を合わせます。

1 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION” と表示されるまで、押し続けます。

2 時計調整項目を選択します

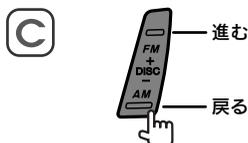


3 時刻合わせを開始します



または を時計が点滅表示するまで押し続けます。

4 “時” を合わせます



5 “分” を合わせます



6 時刻合わせを終了します



分を調整した時は、“00”秒からカウントがスタートします。
ファンクションセットモードを終了するとき
は、もう一度押します。

日付設定

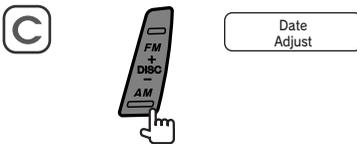
日付を設定します。

1 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで、押し続けます。

2 日付設定項目を選択します



3 日付の設定を開始します



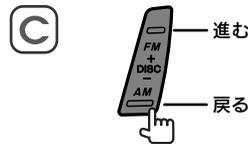
または を日付が点滅表示するまで押し続けます。

4 設定する項目を選択します



押すたびに、設定できる項目（年、月、日）が切り替わります。点滅中の項目が、設定可能な項目です。

5 日付を調整します



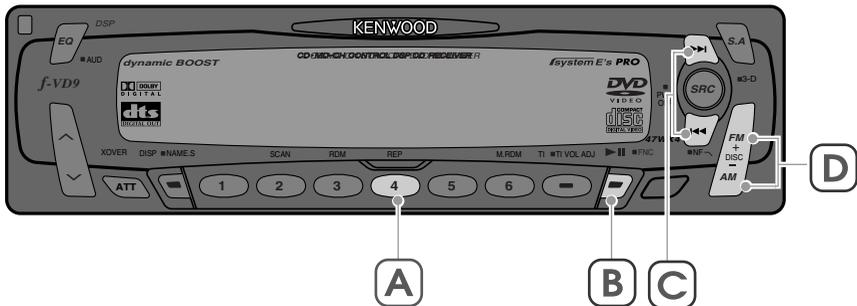
● 年表示は西暦の下2桁を表しています。

6 日付設定を終了します



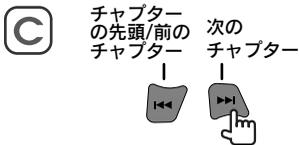
ファンクションセットモードを終了するときには、もう一度押します。

DVD Mode



● チャプターサーチ(DVD)

順にチャプターを選びます。



押すたびに、次のチャプター、または現在プレイ中のチャプターの先頭/前のチャプターへチャプターサーチします。

プレイバック(PBC)コントロール(VCD)

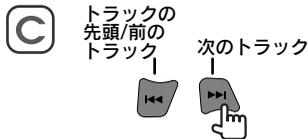
PBC機能をコントロールします。(PBC機能オン時)



- PBC機能が記録されているディスクでも、「PBC」の設定 (68ページ) を “OFF” にしている場合はPBC機能を使用できません。
- PBC機能の使用方法はディスクの取扱説明書をご覧ください。
- PBC機能がオフの場合は、モニターの画面上ではPBCの文字の上に×印が表示されます。

● トラックサーチ(VCD,CD)

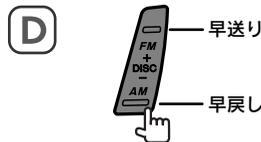
順にトラックを選びます。(PBC機能オフ時)



押すたびに、次のトラック、または現在プレイ中のトラックの先頭/前のトラックへトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中のチャプター/トラックを早送り/早戻しします。



ボタンを押すと、早送り/早戻しされます。

- ボタンを押すたびに速度が2倍速(◀◀▶▶)、3倍速(◀◀◀▶▶▶)と切り替わります。(DVD,VCD)
- 2倍速時通常音声再生機能(49ページ)をオンすると、2倍速のときのみ音声が出力されます。

DVD/VCD/CDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なDVD/VCD/CDのプレイのしかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

ポーズ

現在プレイ中のチャプター/トラックを一時停止します

B



もう一度押すとプレイを再開します。

トラックリピートプレイ (VCD,CD)

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。
(PBC機能オフ時)

A

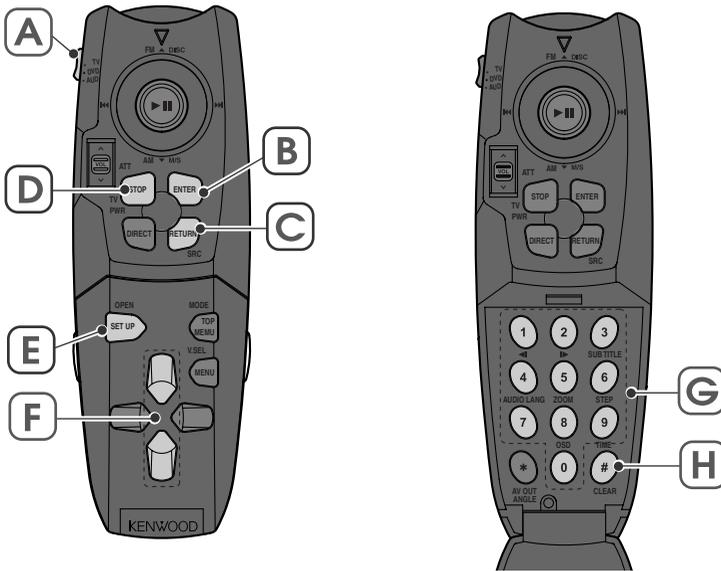


Repeat ON

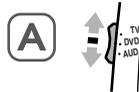
押すたびに、トラックリピートプレイがオン／オフされます。トラックリピートプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

- ディスクをイジェクトするとリピートプレイは解除されます。
- リピートプレイがオンのときにトラックサーチをすると、リピートプレイは解除されます。

DVD Setup Menu Mode



モードスイッチの設定



モードスイッチは< DVD >の位置にします。



リモコンでセットアップメニューの設定ができます。

セットアップメニュー

再生中のディスクを停止します

D

ディスクを再生中は操作できません。設定をする場合は、再生を停止させて操作します。

セットアップメニューモードにします

E

次のセットアップメニューが表示されます。

“SETUP MENU”

“1 LANGUAGES” (42ページ)

“2 PARENTAL” (46ページ)

“3 AUDIO” (47ページ)

“4 PICTURE” (50ページ)

前のメニューに戻る

C

各メニュー項目を設定中にボタンを押すと前のメニュー画面に戻ります。

セットアップメニューを終了する

E

各メニュー項目を設定中にボタンを押すとセットアップメニューを終了します。

DVD Setup Menu Mode

音声言語の設定

1 “LANGUAGES” 項目を選択します

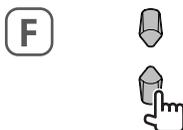


ボタンを押して“LANGUAGES”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “AUDIO” 項目を選択します

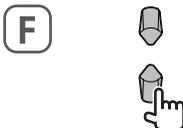


ボタンを押して“AUDIO”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したい言語を選択します



ボタンを押して設定したい言語を選択します。

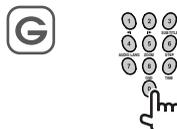
6 言語を確定させます



- ディスクのオリジナル言語を設定する場合は、“ORIGINAL”を選択します。
- 一覧に言語がない場合は“OTHERS”を選択し、言語コード一覧（45ページ）から4桁のコードを入力します。

言語コードの入力

1 言語コードを入力します



言語コード一覧（45ページ）から4桁のコードを選択し入力します。

- 入力を間違えた場合は“CLEAR”ボタンを押します。入力した番号は消去されます。

2 言語コードを確定させます



字幕言語の設定

1 “LANGUAGES” 項目を選択します

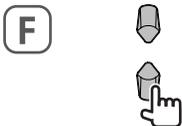


ボタンを押して“LANGUAGES”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “SUB TITLE” 項目を選択します

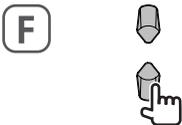


ボタンを押して“SUB TITLE”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したい言語を選択します



ボタンを押して設定したい言語を選択します。

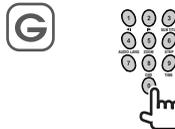
6 言語を確定させます



- 字幕の言語を音声言語と合わせる場合には、“AUTO”を選択します。
- 一覧に言語がない場合は“OTHERS”を選択し、言語コード一覧（45ページ）から4桁のコードを入力します。

言語コードの入力

1 言語コードを入力します



言語コード一覧（45ページ）から4桁のコードを選択し入力します。

- 入力を間違えた場合は“CLEAR”ボタンを押します。入力した番号は消去されます。

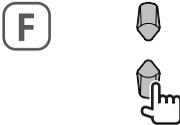
2 言語コードを確定させます



DVD Setup Menu Mode

ディスクメニューの設定

1 "LANGUAGES" 項目を選択します

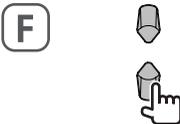


ボタンを押して“LANGUAGES”を選択します。

2 項目を確定させます



3 "DISC MENU" 項目を選択します

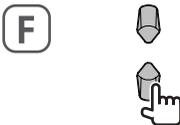


ボタンを押して“DISC MENU”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したい言語を選択します



ボタンを押して設定したい言語を選択します。

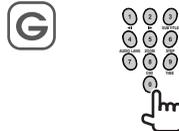
6 言語を確定させます



- 一覧に言語がない場合は“OTHERS”を選択し、言語コード一覧（45ページ）から4桁のコードを入力します。
- 一部のディスクには、初期言語として選択した言語がない場合もあります。ディスクに選択した言語が収録されていない場合はディスクで設定されている言語が選択されます。

言語コードの入力

1 言語コードを入力します



言語コード一覧（45ページ）から4桁のコードを選択し入力します。

- 入力を間違えた場合は“CLEAR”ボタンを押します。入力した番号は消去されます。

2 言語コードを確定させます



言語コード一覧表

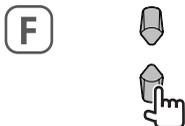
記号	言語	記号	言語	記号	言語
6565	アフガル語	7285	ハンガリー語	8084	ポルトガル語
6566	アブバシア語	7289	アルメニア語	8185	ケチュア語
6570	アフリカーンス語	7365	国際語	8277	ラエティ=ロマン語
6577	アムハラ語	7378	インドネシア語	8279	ルーマニア語
6582	アラビア語	7383	アイスランド語	8285	ロシア語
6583	アッサム語	7384	イタリア語	8365	サンスクリット語
6588	アイマラ語	7387	ヘブライ語	8368	シンド語
6590	アゼルバイジャン語	7465	日本語	8372	セルビアクロアチア語
6665	バシキール語	7473	イディッシュ語	8373	シンハラ語
6669	ベラルーシ語	7487	ジャワ語	8375	スロバキア語
6671	ブルガリア語	7565	グルジア語	8376	スロベニア語
6672	ビハーリー語	7575	カザフ語	8377	サモア語
6678	ベンガル語、バングラ語	7576	グリーンランド語	8378	ショナ語
6679	チベット語	7577	カンボジア語	8379	ソマリ語
6682	ブルトン語	7578	カンナダ語	8381	アルバニア語
6765	カタロニア語	7579	韓国語	8382	セルビア語
6779	コルシカ語	7583	カシミール語	8385	スンダ語
6783	チェコ語	7585	クルト語	8386	スウェーデン語
6789	ウエールズ語	7589	キルギス語	8387	スワヒリ語
6865	デンマーク語	7665	ラテン語	8465	タミール語
6869	ドイツ語	7678	リンガラ語	8469	テルグ語
6890	ブータン語	7679	ラオス語	8471	タジク語
6976	ギリシャ語	7684	リトアニア語	8472	タイ語
6978	英語	7686	ラトビア語、レト語	8473	ティグリニャ語
6979	エスペラント語	7771	マダガスカル語	8475	トゥルクメン語
6983	スペイン語	7773	マオリ語	8476	タガログ語
6984	エストニア語	7775	マケドニア語	8479	トンガ語
6985	バスク語	7776	マラヤーラム語	8482	トルコ語
7065	ベルジャ語	7778	モンゴル語	8484	タタール語
7073	フィンランド語	7779	モルタビア語	8487	トウイ語
7074	フィジー語	7782	マラータ語	8575	ウクライナ語
7079	フェロー語	7783	マレー語	8582	ウルドゥー語
7082	フランス語	7784	マルタ語	8590	ウスベク語
7089	フリジア語	7789	ミャンマー語	8673	ベトナム語
7165	アイルランド語	7865	ナウル語	8679	ボラビュク語
7168	スコットランドゲール語	7869	ネパール語	8779	ウォロフ語
7176	グルジア語	7876	オランダ語	8872	コーサ語
7178	グアラニ語	7879	ノルウェー語	8979	ヨルバ語
7185	グジャラート語	7982	オリヤー語	9072	中国語
7265	ハウサ語	8065	パンジャブ語	9085	ズール語
7273	ヒンディー語	8076	ポーランド語		
7282	クロアチア語	8083	パンシュトー語		

DVD Setup Menu Mode

視聴規制レベルの設定

お子様などに見せたくない映像を制限することができます。

1 “PARENTAL” 項目を選択します



ボタンを押して“PARENTAL”を選択します。

2 項目を確定させます

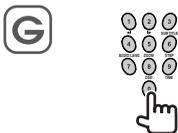


3 パスワード入力待ち状態にします



ボタンを押すとパスワードが入力できる状態になります。

4 パスワードを入力します



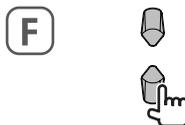
4桁のパスワードを入力します。モニターには数値を入力すると*が表示されます

- 入力を間違えた場合は“CLEAR”ボタンを押します。入力した番号は消去されます。
- パスワードの初期設定値は7890です。
- パスワードが間違っている場合には、“SETUP MENU”に戻ります。
- 本機のリセットボタンを押すと、登録したパスワードは消去されます。

5 パスワード確定させます



6 規制レベルを設定します



設定を選択します。

“UNLOCKED”：

規制を解除します。

“8” - “4”：

数字が小さいほど規制レベルが高くなります。

7 規制レベルを確定させます



- 再生している場面が設定した規制レベルより高い場合には、視聴規制設定画面が表示されますパスワードを入力しないと、再生が継続されず、別のレベルの映像が再生されます。
- 規制レベルはディスクにより異なります。
- 視聴規制のないディスクでは視聴規制を設定しても、再生は制限されません。
- パスワードを変更する場合には、“Change Password”を選択して4桁の新しいパスワードを入力します。

光デジタル出力の設定

本機からデジタル音声出力の設定をします。

1 “AUDIO” 項目を選択します

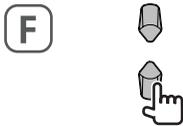


ボタンを押して “AUDIO” を選択します。

2 項目を確定させます



3 “DIGITAL OUT” 項目を選択します

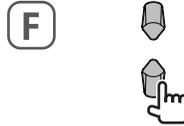


ボタンを押して “DIGITAL OUT” を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したいタイプを選択します



ボタンを押して下記の中から設定したいタイプを選択します。

“STREAM” :

ドルビーデジタル対応アンプ（デコーダ）と接続したときに選択します。（DS-02 を接続した場合にはこの設定にします。）

“LPCM” :

48KHz/16ビットのリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器と接続した時に選択します。

“OFF” :

デジタル出力に接続しない時に選択します。

6 タイプを確定させます

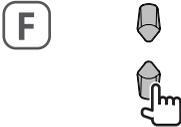


DVD Setup Menu Mode

ダイナミックレンジの設定

小音量でも聴きやすくします。

1 “AUDIO” 項目を選択します

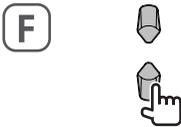


ボタンを押して“AUDIO”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “D.R.C.” 項目を選択します

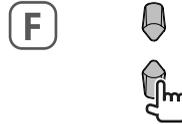


ボタンを押して“D.R.C.”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したいタイプを選択します



ボタンを押して下記の中から設定したいタイプを選択します。

“FULL”：

通常のダイナミックレンジになります。

“STANDARD”：

より大きい音声のレベルを抑圧します。

“NIGHT”：

大きい音声のレベルを抑圧します。

● この操作を行うと音量レベルが上がる場合があります。

6 タイプを確定させます



● ドルビーデジタルのソフト以外では設定できません。

2倍速時通常音声再生機能の設定

2倍速で再生している時の音声、通常音声で再生するか早送り音声で再生するかを設定します。

1 “AUDIO” 項目を選択します

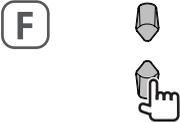


ボタンを押して“AUDIO”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “AUDIO DURING*2” 項目を選択します

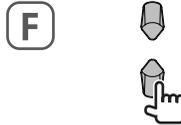


ボタンを押して“AUDIO DURING*2”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したいタイプを選択します



ボタンを押して下記の中から設定したいタイプを選択します。

“ON”：

2倍速時通常音声再生機能をオンします。

“OFF”：

2倍速時通常音声再生機能をオフします。

6 タイプを確定させます

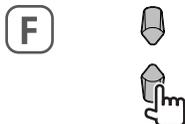


DVD Setup Menu Mode

● スクリーンモードの設定

テレビ画面の形状を設定します。

1 “PICTURE” 項目を選択します

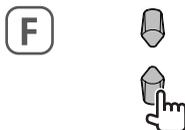


ボタンを押して“PICTURE”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “TV SCREEN” 項目を選択します

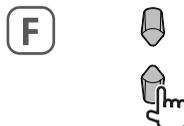


ボタンを押して“TV SCREEN”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したいタイプを選択します



ボタンを押して下記の中から設定したいタイプを選択します。

“4:3 LETTERBOX”：

レターボックス方式（上下に黒い帯がある画面）でワイド版の映像を再生する場合に選択します。

“4:3 PAN-SCAN”：

パン&スキャン方式（左右の切れた画面）でワイド版の映像を再生する場合に選択します。

“16:9 WIDE”：

ワイド版の映像の場合に選択します。

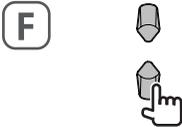
6 タイプを確定させます



カースキームの設定

モニターに表示される文字（オンスクリーンディスプレイ）の色を設定します。

1 “PICTURE” 項目を選択します

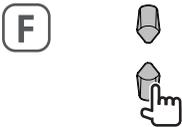


ボタンを押して“PICTURE”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “COLOR SCHEME” 項目を選択します

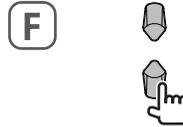


ボタンを押して“COLOR SCHEME”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したいタイプを選択します



ボタンを押して下記の中から設定したいタイプを選択します。

“Yellow”：

モニターに表示される文字が黄色になります。

“Green”：

モニターに表示される文字が緑色になります。

“Blue”：（初期設定値）

モニターに表示される文字が青色になります。

“Red”：

モニターに表示される文字が赤色になります。

6 タイプを確定させます

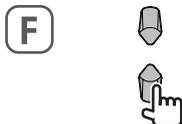


DVD Setup Menu Mode

ズームの設定

画面を拡大するときの設定をします。

1 “PICTURE” 項目を選択します

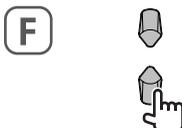


ボタンを押して“PICTURE”を選択します。

2 項目を確定させます



3 “ZOOM SETUP” 項目を選択します

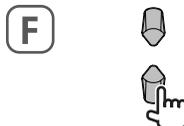


ボタンを押して“ZOOM SETUP”を選択します。

4 項目を確定させます



5 設定したい項目を選択します



ボタンを押して“START POINT”または“PAN SCALE”を選択します。

“START POINT”：
ズームさせる開始点の設定ができます。

“PAN SCALE”：
画面を移動させるときの移動量の設定ができます。

6 タイプを確定させます



7 設定したいタイプを選択します**F**

ボタンを押して下記の中から設定したいタイプを選択します。

“START POINT” の設定**“UPPER LEFT”** :

画面の左上を基準に拡大させます。

“CENTER” :

画面の中央を基準に拡大させます。

“LAST POINT” :

前回ズームさせたときの開始点を基準に拡大させます。

“PAN SCALE” の設定**“NORMAL”** :

標準的な移動量になります。

“ROUGH” :

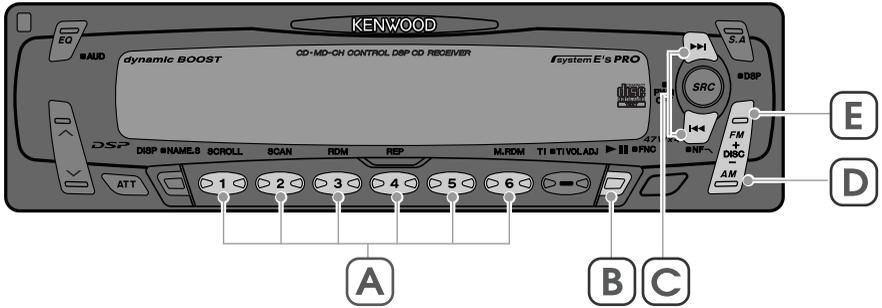
移動量が荒くなります。

“FINE” :

移動量が細くなります。

8 タイプを確定させます**B**

Tuner Mode



バンド切り替え

FM1とFM2バンドに切り替えます。



AM1とAM2バンドに切り替えます。



プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1-3ch 82.5

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードがオート1のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。
途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードがオート2のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。
(メモリーの方法は次ページを参照してください)

チューニングモードがマニュアルのとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

● チューニングモードはファンクションセット（34ページ）の“Seek Mode”項目で選択できます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

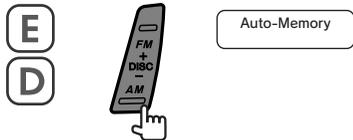
前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



または ボタンを周波数表示になるまで押し続けます。

6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

ファンクションセットモードを終了するとき、 ボタンを押します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

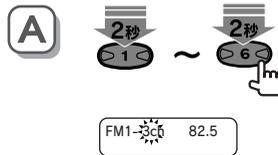
1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

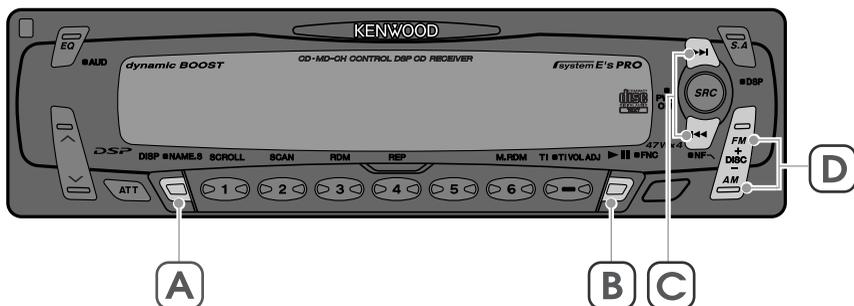


3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

Name Set



DNPS (ディスク名前プリセット) / SNPS (ステーション名前プリセット)
 CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- ディスプレイの上部に、ディスクタイトル、トラックタイトルを表示中は、DNPSは行えません。上記以外の表示を選択しておいてください。
- MDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

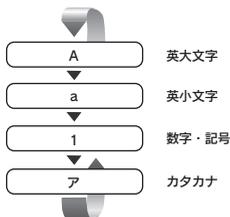
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

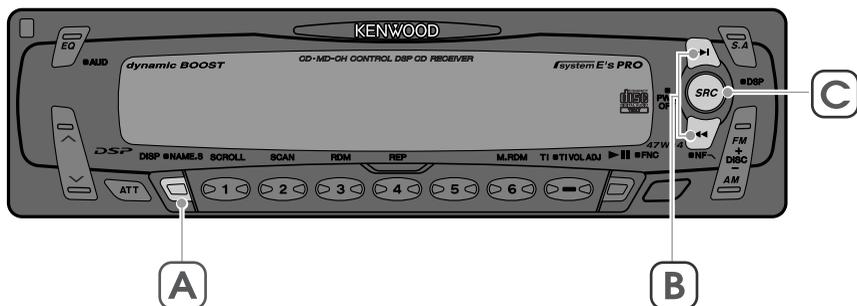
7 DNPS/SNPSを終了します



FM/AM放送や別売品のCDプレーヤーおよびCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が確定されます。
- 名前はDNPSで12文字まで、SNPSで8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとSNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2～6の操作により変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局が32局、AM放送局が16局です。
- 接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーにDNPSできる枚数は機種により異なります。詳しくは、CDプレーヤーまたはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

Name Set



AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 ネームセットモードに入ります

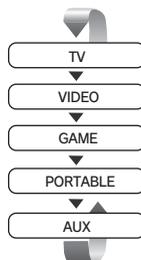


“NAME SET” と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

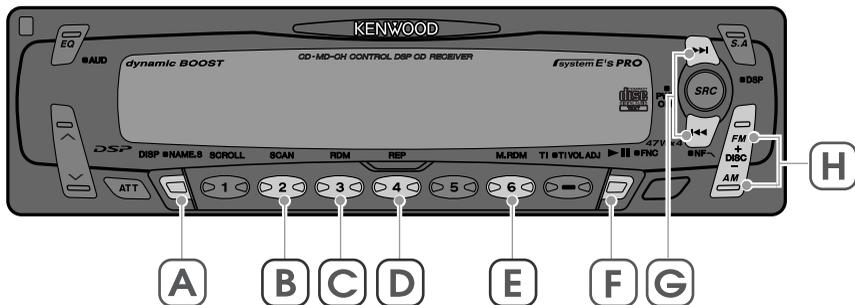


4 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が確定されます。

External Disc Control



- **ディスクサーチ** (ディスクチェンジャーのみ)
プレイするディスクを選択します。



- **トラックサーチ**
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

- **ポーズ**
現在プレイ中の曲を一時停止します



トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。



別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



トラックスキャン中は、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで…



その曲からプレイします。
 を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフします。トラックランダムプレイがオンのときはトラックナンバーが点滅します。

 を押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイがオンのときはトラックナンバーとディスクナンバーが点滅します。

 を押すと、次の曲をランダムに選択します。

タイトル/テキストスクロール

ディスプレイ上段のタイトル/テキスト表示を、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 タイトル/トラックタイトル表示にします

ディスプレイタイプ選択 (30ページ) およびディスプレイ上段表示選択 (31ページ) を参照してディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

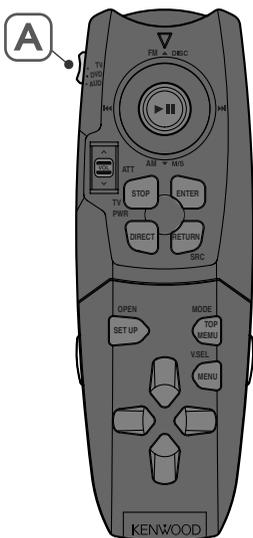
2 スクロール表示します



1秒以上押すと、表示中のタイトル/テキストが1回スクロール表示します。

 スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、タイトル/テキストは最初の文字からスクロールを開始します。(スクロール選択の方法は、ファンクションセット34ページを参照してください)

Remote Control



モードスイッチの設定



TV/モニターを操作するとき：（ケンウッド製の別売品）

モードスイッチは< TV >の位置にします。接続しているTVにより、本機のリモコンでコントロールできる機能は異なります。機能については、TVの操作説明書をご覧ください。

DVDソースを操作するとき：

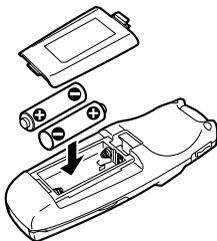
モードスイッチは< DVD >の位置にします。

オーディオソースを操作するとき：（FM/AM放送、別売品のCDプレイヤーまたはCDチェンジャー）

モードスイッチは< AUD >の位置にします。

電池の入れかた

付属の電池（単四型2本）を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。

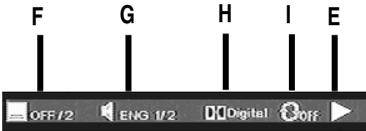
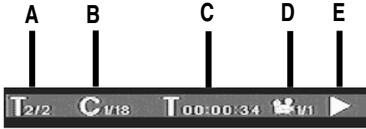


● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

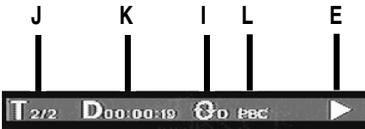
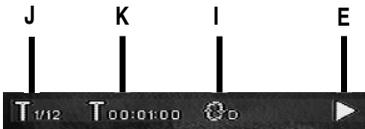


- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

● On Screen Display

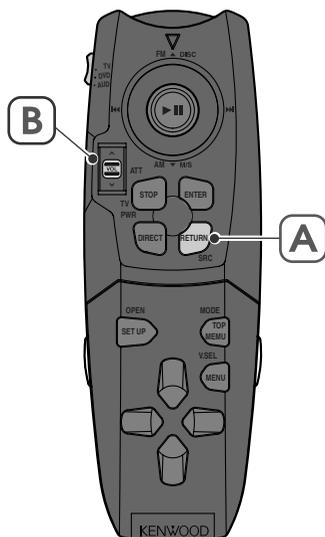
DVDモード

- A:タイトルナンバー
- B:チャプターナンバー
- C:タイトルタイム /
チャプタータイム
- D:アングルインジケーター
- E:プレイインジケーター
- F:字幕言語インジケーター
- G:音声言語インジケーター
- H:Dolby Digital / DTS / LPCM /
MPEG インジケーター
- I:リピートインジケーター
- J:トラックナンバー
- K:トラックタイム /
ディスクタイム
- L:PBC インジケーター

VCDモード**CDモード**

Remote Control

Common Operation



ソース切り替え (<AUD>位置)

A



プレイするソースを切り替えます。

音量調節 (<DVD/AUD>位置)

B



音量を調節します。

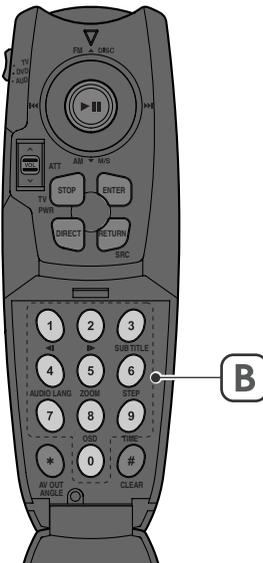
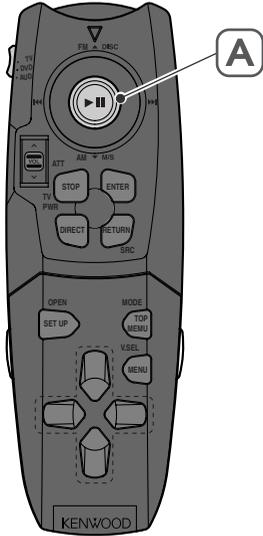
アッテネーター (<DVD/AUD>位置)

B



ワンタッチで音量を小さくします。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOLへの方向へ動かしても元の音量に戻ります。

DVD Operation (< DVD > 位置)



プレイ/ポーズ

A



プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

マニュアルサーチ

A



上に動かすと早送り、下に動かすと早戻しを開始します。
⏮ を押すと早送り/早戻しを解除します。

❗ 早送り/早戻し中に ⏮ を動かすと、動かすごとに2倍速(◀▶)と3倍速(◀▶▶)が切り替わります。(DVD,VCD)

チャプター(DVD)/トラックサーチ(VCD,CD)

A



左に動かすと現在のチャプター/トラックの先頭または、前のチャプター/トラックを選びます。

右に動かすと次のチャプター/トラックを選びます。

スロー再生(DVD,VCD)

B



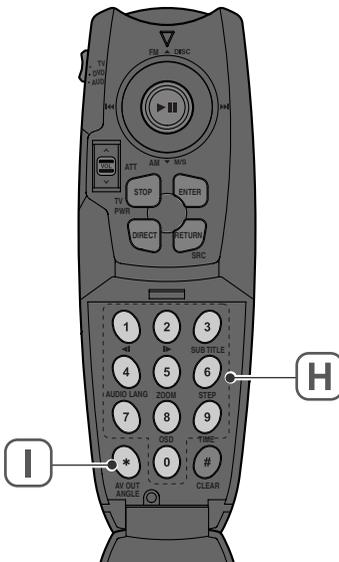
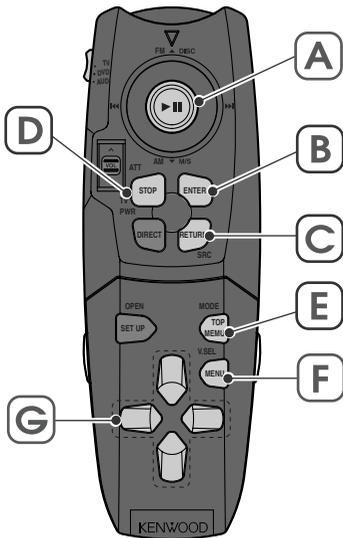
スロー再生します。(DVD,VCD)
押すたびに速度が1/2,1/4,1/8と切り替わります。



スロー戻しします。(DVD)
押すたびに速度が1/2,1/4,1/8と切り替わります。

❗ ⏮ を押すと、スロー再生を中止して通常再生に戻ります。

Remote Control



コマ送り(DVD,VCD)

- H** 6 押すたびにコマ送ります。
 を押すと通常再生に戻ります。

プレイ停止

- D** 1回押すと、プレイ再開時は停止した箇所から始まります。(▶■インジケータを表示している場合)
 2回押すと、プレイ再開時は最初から始まります。

ディスクメニューの操作(DVD)

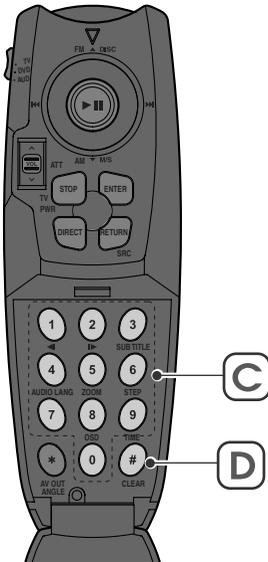
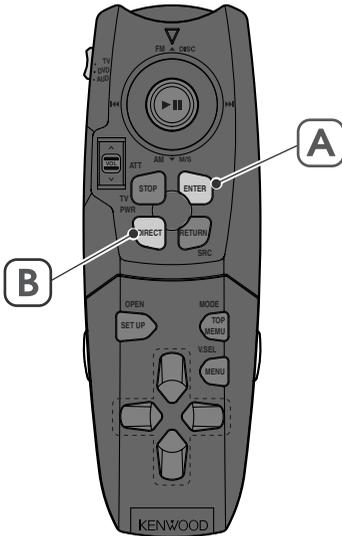
- F** メニューが表示されます。
- G** メニュー項目が選択できます。
- B** メニュー項目を設定します。
- E** メニュー項目の一番最初の画面に戻ります。
- を押すと、前のメニュー項目に戻ります。

映像アングルの切り替え(DVD)

マルチアングルで記録されている場面では映像のアングルをかえることができます。

- I** 押すたびにアングルがかわります。

- ディスクにより、アングル切り替えは2通りあります。
 - シームレス
つなぎめなくスムーズにアングルが切り替わる。
 - ノンシームレス
アングル切りかえ時に一瞬静止画になり、その後アングルが切り替わる。



字幕言語の切り替え(DVD)



押すたびに言語が切り替わります。



- 切り替えられる言語はディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクによりディスクのメニューでしか言語の切り替えができない場合があります。

音声言語の切り替え(DVD)



押すたびに言語が切り替わります。



- 切り替えられる言語はディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクによりディスクのメニューでしか言語の切り替えができない場合があります。

ダイレクトサーチ

1. ダイレクトサーチモードを選択します。



2. No.または時間を入力します。



[0]～[9]のボタンを押してNo.または時間を入力します。

DVD : タイトル/チャプターのNo.または時間

VCD : PBC画面のNo.(PBCオン時)

トラックNo.(PBCオフ時)

CD : トラックNo.

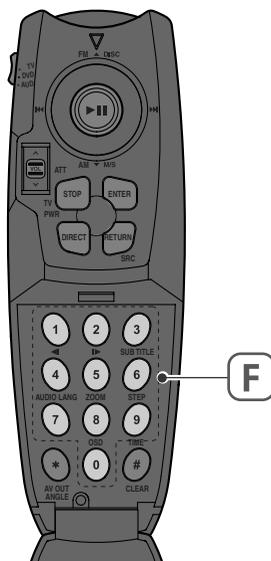
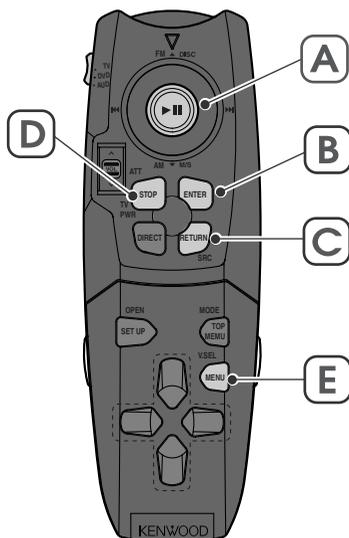


入力を間違えたときは[CLEAR]ボタンを押して、再入力してください。

3. サーチします。



Remote Control



PBCの設定(VCD version2.0)



VCD version2.0のディスク再生中に押すとPBC機能がオン/オフします。



PBC機能を操作するときは、[STOP]ボタンでディスクの再生を停止させてください。

PBCの操作(VCD)



次/前を再生する

確定する

戻る

上記の各キーで操作します。



PBC機能についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

ズームコントロール



押すたびにズーム機能が次の順で切り替わります。

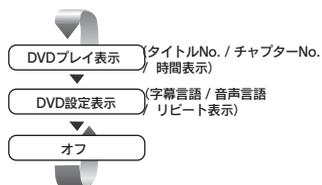


ACCをオン/オフすると初期設定に戻ります。

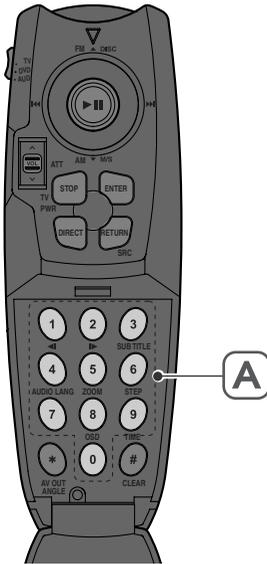
オンスクリーン表示



DVDを再生中は、押すたびにモニター上の表示（オンスクリーン表示）が次の順で切り替わります。VCDとCDを再生中は、押すたびにオン/オフします。



時間表示の切り替え



A



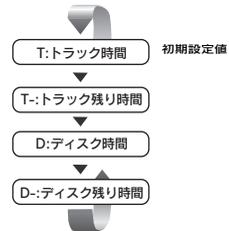
押すたびにモニター上の時間表示が次の順で切り替わります。

DVDモード



- 時間表示は、再生するディスクによっては表示されません。
- ACCをオン/オフすると初期設定に戻ります。

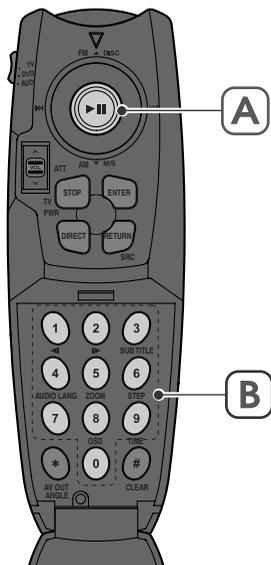
VCD/CDモード



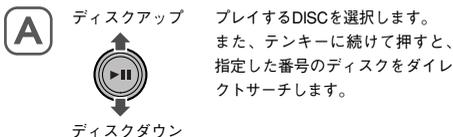
- ACCをオン/オフすると初期設定に戻ります。

Remote Control

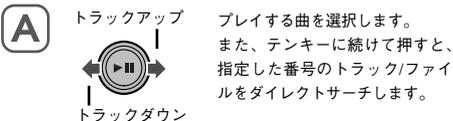
External DISC Operation



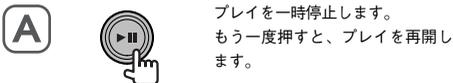
ディスクサーチ(ディスクチェンジャーのみ) (<AUD>位置)



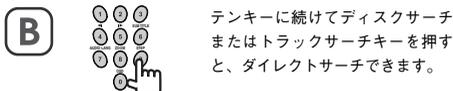
トラックサーチ (<AUD>位置)



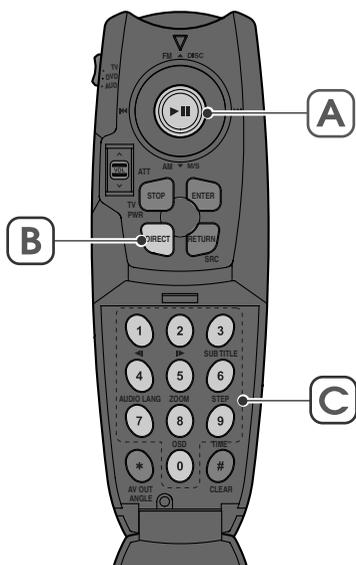
プレイ/ポーズ (<AUD>位置)



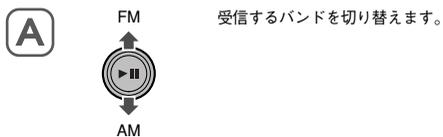
テンキー (<AUD>位置)



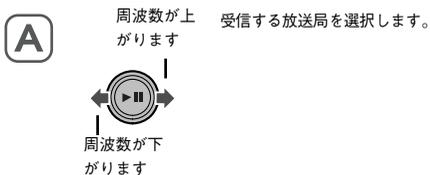
Tuner Operation



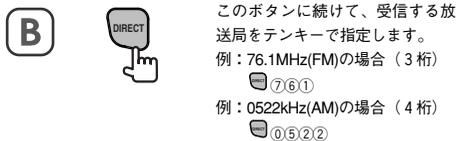
バンド切り替え (<AUD>位置)



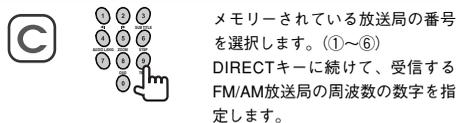
選局 (<AUD>位置)



ダイレクトサーチ (<AUD>位置)



テンキー (<AUD>位置)



電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(88ページ)を見て正しく接続してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- ATTが“ON”になっている。
- アンプユニットのヒューズが切れている。
- アンプユニットとの接続が正しくされていない。
- 再生するディスクのメディアにより、音のレベル差がある。
- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。
- ATTを“OFF”にしてください。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(88ページ)を見て正しく接続してください。
- 再生するメディアに合った音量に調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルがスライドしている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(88ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- O-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(88ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

SRCボタンを押しても“TV”の表示がされない

- ファンクションセットの“Builtin AUX”項目が“OFF”に設定されている。
- AUXネームセレクトで“TV”以外を設定している。
- ファンクションセットの“Builtin AUX”項目を“ON”に設定してください。(34ページ)
- AUXネームセレクトで“TV”を選択してください。(58ページ)

Audio Control

オーディオコントロールで表示されない項目がある

- ファンクションセットの“DB PRO”項目が“OFF”に設定されている。
- DS-02を接続している。
- ファンクションセットの“DB PRO”項目を“ON”に設定してください。(34ページ)
- DS-02を接続していると、DS-02接続用の設定項目に変わります。

サラウンド効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェーダーまたはバランスの調整が片寄っている。
- 「接続」(88ページ)を見て正しく接続してください。
- フェーダーやバランスを正しく調整してください。(18ページ)

DVD/VCD/CD mode

DVDを選んでも再生しない

- ディスクがセットされていない。
- ディスクが裏返しである。
- ディスクが異常に汚れている。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
- 視聴制限がされている。
- プレイするディスクをセットしてください。
- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「ディスクの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- 再生できるディスクを確認してください。(80ページ)
- 視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください。

映像が乱れる

- ▶ 早送り/早戻ししている。 多少乱れることがありますが、故障ではありません。

ディスクが入らない

- ▶ すでにディスクが入っている。 ●入っているディスクを取り出してから入れてください。
- ACCまたはPowerがオフになっている。 ●パワーをオンにしてください。

ディスクのプレイ中に振動で映像/音が切れる

- ▶ ●取り付け角度が30°を超えている。 ●30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- 取り付けが不安定になっている。 ●しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない

- ▶ 複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。 メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

- ▶ トラックリピートがオンになっている。 トラックリピートをオフにしてください。(39/60ページ)

ディスクがイジェクトできない

- ▶ ディスクがイジェクト途中で止まっている。 ディスク イジェクトボタンをディスクがイジェクトするまで押し続けてください。

ディスクを取り出せない

- ▶ 車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。 ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

External Disc mode

CDのプレイ中に振動で音飛びする

取り付けが不安定になっている。

しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「ディスクの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(61ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(60ページ)

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキッププレイがオンになっている。

トラックスキッププレイをオフにしてください。(61ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(60ページ)

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(61ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(61ページ)

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

ダイレクトディスクサーチができない

- ディスクが1枚しか入っていない。
- ランダムまたはスキャンが“ON”になっている。
- ディスクを2枚以上挿入してください。
- ランダムまたはスキャンを“OFF”にしてください。

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。 ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。 各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

トラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。 ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

Name Set

DNPSができない

- 別売品KMD-C30またはRJ-480でMDをプレイしている。
- ディスクタイトル、トラックタイトル表示になっている。
- 別売品KMD-C30またはRJ-480ではMDにDNPSはできません。
- ディスクタイトル、トラックタイトル表示以外の表示を選択しておいてください。

DNPS表示にしても“NO NAME”と表示される

DNPSが登録されていない。

DNPSを登録してください。(56ページ)

登録したはずのステーションネームが消えた

- FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーションネームを登録した。
- 車両のバッテリーを交換などしたため。
- 登録できるステーションネームはFM放送で32局、AM放送で16局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 登録できる枚数以上のディスクネームを登録した。
- DNPSで登録できる枚数は接続されたCDチェンジャーやCDプレーヤーの機種により異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- TOC Error** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- E-12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- Eject** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- NO NAME** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- NO TITLE** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- NO TEXT** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Tr Disc** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- E-77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : 本機のDVDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。(モニターには“WRONG DISC FORMAT”と表示されます)
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- IN (点滅)** : DVDプレーヤーが正常に動作していない。
→ディスクを取り出してから、ディスクを入れなおしてください。
- Region Error** : 本機で再生できないリージョン番号のディスクを入れた。(モニターには“WRONG REGEON CODE”と表示されます。)
→再生できるリージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れてください。
- Read Error** : 本機でディスクが読めない。または、未対応のディスクを入れた。(モニターには“WRONG DISC FORMAT”と表示されます。)

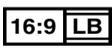
- ※ 「スペシャライザー」はデスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。Spatializer® およびシンボルマークは、デスパー・プロダクツ社の登録商標です。
- ※ 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ※ ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、およびプロロジックはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- ※ DTSは米国Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	このマーク付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。リージョン番号を表します。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で観ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

本機で再生できないディスク

以下のディスクは本機では再生できません。

- MP3ファイルで記録されたディスク
- DVD-ROM/ DVD-R/ DVD-RW/ DVD-RAM
- S-VCD/ HQ-VCD
- CDV（音声のみ再生可能）
- CD-G/ CD-EG/ CD-EXTRA（音声のみ再生可能）
- フォトCD
- CD-R/RW

操作規制マークについて

DVDやVCDディスクは、再生箇所により本機でのプレイ操作等規制される場合があります。このようなときは以下のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクの取扱説明書をご覧ください



本機には NTSCディスクを使用してください。

用語

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

PBC（プレイバックコントロール）

本機は、プレイバックコントロール（PBC）付き対応ビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

ドルビーデジタル

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化しにくい特長があります。

※ドルビーデジタルを楽しむには別売品のDVDサラウンドプロセッサー"DS-02"が必要です。

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

※DTSサラウンドを楽しむには別売品のDVDサラウンドプロセッサー"DS-02"が必要です。また、DVDビデオソフトもDTSに対応したものをご使用ください。

ドルビープロロジック

ドルビーサラウンドの方式で2チャンネルに記録された4チャンネル信号を再生時に再び4チャンネル（フロントL/R、センター、リアサラウンド（モノラル））の信号に戻すための装置です。

※ドルビープロロジックを楽しむには別売品のDVDサラウンドプロセッサー"DS-02"が必要です。

リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制（パレンタルロック）

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

AMP Bass

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

Beep

(ビープ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1秒以上または2秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ビップ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

Bass EXT

(バスエキステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

Bass FRQ/MID FRQ/TRE FRQ

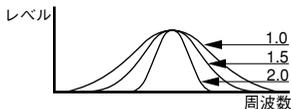
(バスフリクエンシー/ミドルフリクエンシー/トレブルフリクエンシー)

低音と中音と高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q/MID Q

(バスクオリティーファクタ/
ミドルクオリティーファクタ)

低音と中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



Builtin AUX

(ビルトイン・エーユーエックス)

ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるか設定ができます。AUX入力を使用していないときは、“OFF”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

Dimmer

(ディマー)

この機能を“ON”に設定しておくと、車両のライトスイッチをオンにしたときに、自動的に本機のディスプレイを暗くすることができます。

SPATIALIZER

(スペシャライザー)

この機能を“ON”に設定すると3-Dの音響効果を得ることができます。

FRNT HPF/REAR HPF/CNTR HPF

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター/
センターハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“THROUGH”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

NF LPF

(ノンフェーダーローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“THROUGH”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

SW LPF

(サブウーファーローパスフィルター)

サブウーファー出力から高音を削除することができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。

FRNT Slope/REAR Slope/CNTR Slope

(ハイパスフィルタースロープ設定)

FRNT HPF/REAR HPF/CNTR HPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

SW Slope

(ローパスフィルタースロープ設定)

SWで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

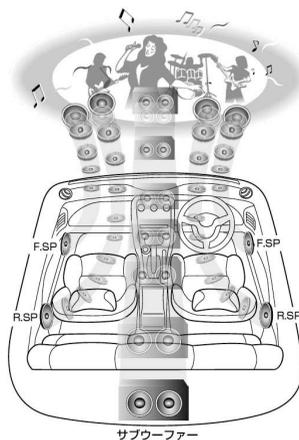
1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

F-R DTA/F-L DTA/R-R DTA/R-L DTA /SW DTA/CNTR DTA

(フロントタイムディレイコントロール/
リアタイムディレイコントロール/
サブウーファータimeディレイコントロール/
センタータイムディレイコントロール)

フロント、リア、サブウーファー、センターから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能のため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。F-R DTA/F-L DTAやCNTR DTAの設定値 (msec.) を上げていくと、音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

R-R DTA/R-L DTAやSW DTAの設定値 (msec.) を上げていくと、前方定位 (ばらけていた音が前方でまとまり、目の前で鳴っているような感覚) や低音感増強、臨場感の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファースの音集性が向上します。



MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

Scroll

(スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、アルバム名またはアーティスト名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくともスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくとも表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

Seek Mode

(シークモード)

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

Volume Offset

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“Volume Offset”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C510, KDC-C506など）、MDチェンジャー（KMD-C30, RJ-480など）です。

取り付け時のご注意

警告



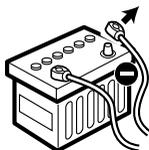
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。



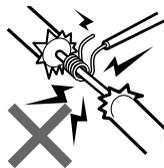
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続



最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

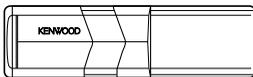
実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをf-VD9とアンプユニットに接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

詳しい接続のしかたはDS-02に付属の取付説明書をご覧ください。



ディスクチェンジャー/CDプレーヤー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャー/プレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。



別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーの、O-Nスイッチは“N”に設定してください。

ディスクチェンジャーケーブル
(ディスクチェンジャーに付属)

ヒューズ (5A)

フロント左入力 (白)
フロント右入力 (赤)

アンプユニット
(付属)

電源
ハーネス
(付属)

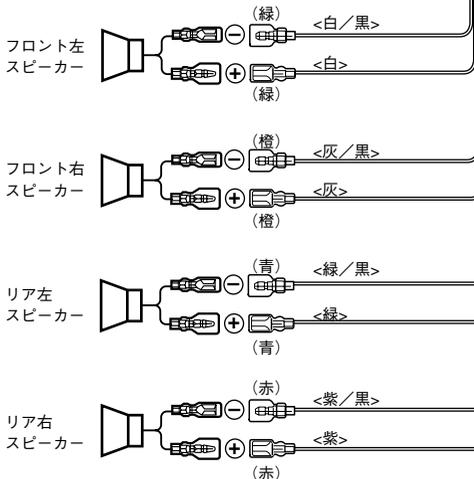
リア右入力 (赤)
リア左入力 (白)
電源
ハーネス
(付属)



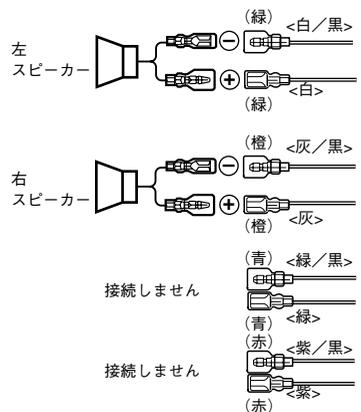
注意

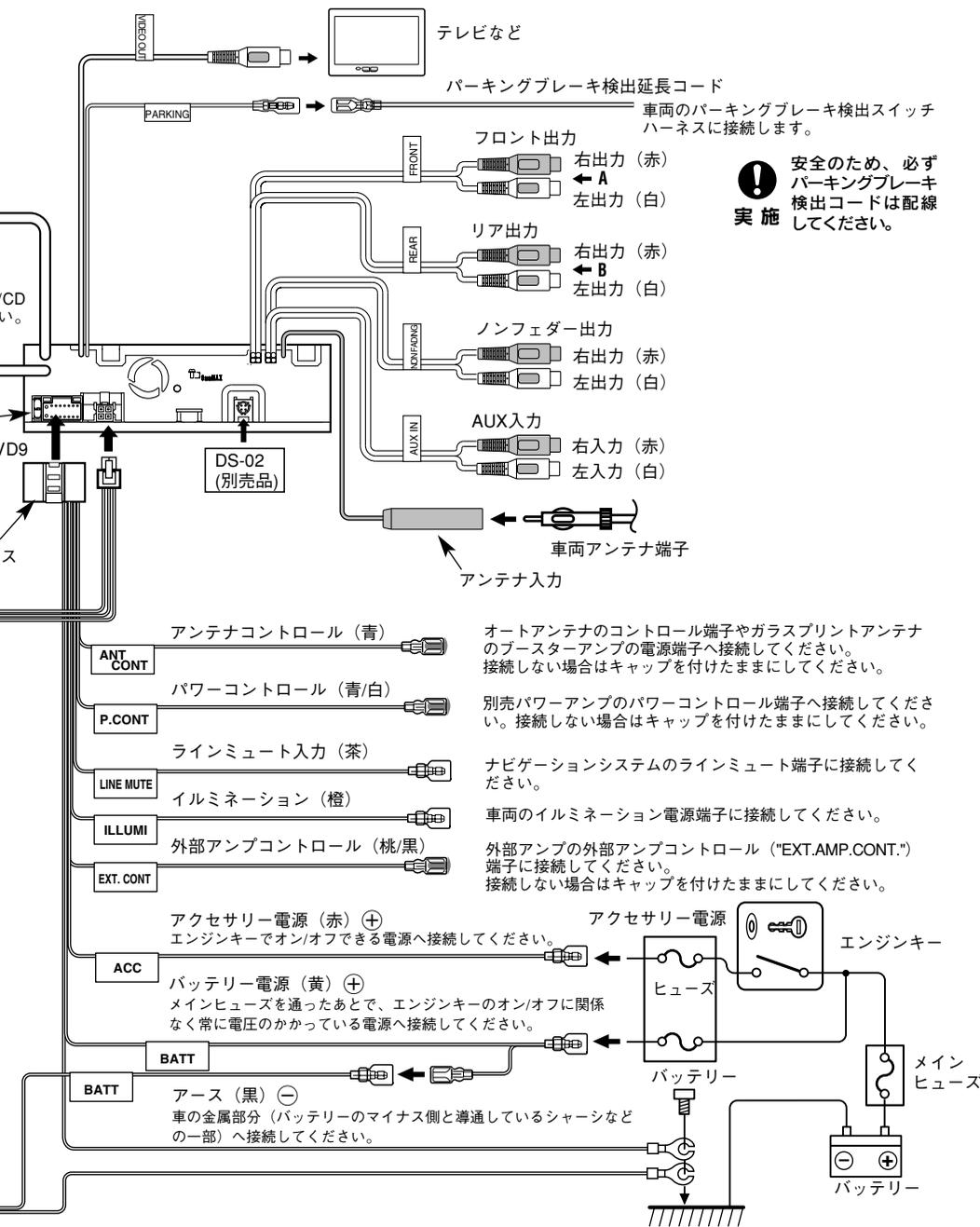
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

RCAケーブル(付属)



2スピーカー時のスピーカー接続方法





! 安全のため、必ずパーキングブレーキ検出コードは配線してください。

取り付け

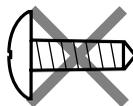
■ f-VD9本体の取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



セムスネジ (M4 × 8mm)
(付属)



別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバンドネジで固定します。

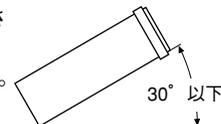
トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
またはサラネジ (M5 × 7mm) (付属)

トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
またはサラネジ (M5 × 7mm) (付属)

車両ブラケットなど



- 本機の取り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

■ アンプユニットの取り付け

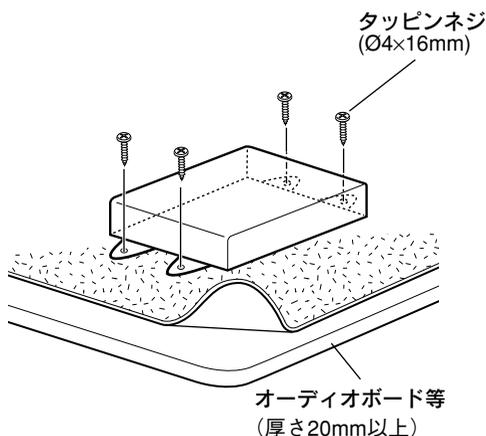


注意

- 安全の為に、タッピンネジを使用して取り付けてください。
- アンプユニットにカーペットを被せないでください。放熱ができなくなり、内部が高温になり故障や発煙する場合があります。

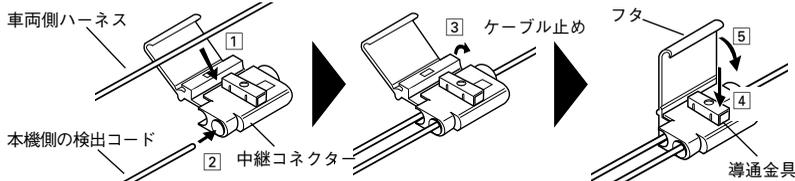
オーディオボードへの固定

タッピンネジ(Ø4×16mm)を使用してオーディオボード等に固定します。



■ 中継コネクターの使い方

- ① 車両側のハーネスを中継コネクタに差し込みます。
- ② 本機側のパーキングブレーキ検出コードを中継コネクタに差し込みます。
- ③ ケーブル止めをロックします。
- ④ プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- ⑤ 最後にフタをロックします。



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できない場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

DVDプレーヤー部

D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性(サンプリング周波数)	20 Hz~44 kHz (96 kHz)
	20 Hz~22 kHz (48 kHz)
	20 Hz~20 kHz (44 kHz)
高調波歪率	0.003 %
S/N比	115 dB (DVD 96 kHz)
ダイナミック	95 dB (DVD 96 kHz)
対応ディスク	DVD-VIDEO/VIDEO-DISC/CD-DA
サンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz (8 fs)、96 kHz (4 fs)
量子化ビット数	16/20/24 Bit直線
光出力	Dolby Digital/DTS/LinearPCM
映像出力レベル(RCAピン)	1 Vp-p/75 Ω

オーディオ部

最大出力	47 W \times 4
定格出力	29 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1.6 V/10 k Ω (ディスクプレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (Bass)	100Hz \pm 10dB
(Mid)	1kHz \pm 10dB
(Treble)	10kHz \pm 10dB

電源部

f-VD9本体	電源電圧	14.4 V (11~16 V)
アンプユニット	最大消費電流	5 A
	最大消費電流	10 A

寸法・質量

f-VD9本体		
埋込寸法 (W \times H \times D)		182 \times 53 \times 160 mm
質量 (重さ)		1.8 kg
アンプユニット		
埋込寸法 (W \times H \times D)		150 \times 27 \times 90 mm
質量 (重さ)		0.7 kg

付属部品

電源ハーネス	2本
RCAケーブル	2本
パーキングブレーキ検出延長コード	1本
中継コネクタ	1個
サラネジ (M5 \times 7mm)	4本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本
タッピングネジ (M4 \times 16mm)	4本
アンプユニット	1個
リモコン	1個
電池 (単4型)	2本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター
（東京） 電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪） 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。